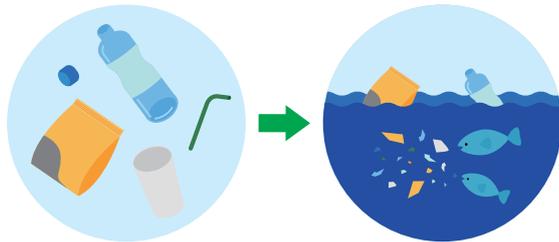


プラスチックごみのことを考えて、 できることから始めよう！



海洋生態系への影響が懸念されています。

海に流れ着いてしまったプラスチックごみは、紫外線にあたりボロボロに小さくなり、「マイクロプラスチック」となって魚などに食べられます。このことは、沿岸および海洋の生態系に悪影響を与えるものであり、その魚などを食べる私たちの健康にも潜在的に影響を及ぼす可能性がある、国際的な問題となっています。



わたしたちにできること

プラスチックごみを減らしましょう Check!

- マイボトル(水筒)を使いましょう → ペットボトルやストローの削減
- 買い物の時はマイバッグを使いましょう → レジ袋の削減
- 資源を分別して、ごみを減らしましょう → ごみ袋の削減



プラスチック製容器包装をきちんと分別しましょう Check!

日用品や食品を包んでいる容器や包装のことを言います。スーパー、コンビニ、薬局等で販売されているピンク色の市指定袋に入れてごみ出ししてください。

ポイント①

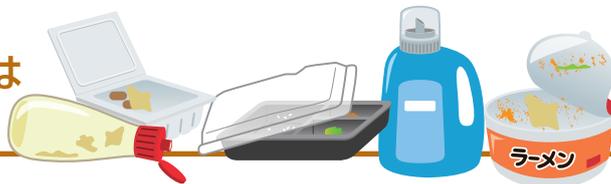
プラスチックでも 商品そのものは「もえるごみ」

ハンガー、ゴム靴、トイレ掃除タワシ、おもちゃ、クリアケース、保冷バッグ、PPバンドなどはもえるごみです。懐中電灯は電池を外して、もえないごみです。ペットボトルは、キャップとラベルのみプラスチック製容器包装です。本体は中を軽くゆすぎ、ペットボトルの日にしてください。



ポイント②

汚れや臭いが取れないものは 「もえるごみ」



出せないものの例

CD、CDケース、食品用密閉容器、衣装ケース、バケツ、ポリタンク、ごみ袋、ハンガー、歯ブラシ、カミソリ、おもちゃ、ゴム製品、スプーン、ストロー、汚れや臭いが取れない容器や包装

出せるものの例

レジ袋、菓子などの外フィルム、みかん等のネット、食品トレー、発泡スチロール、洗って異物や臭いのとれたプラスチックボトル、卵やプリンなどのパック、ペットボトルのふた



▶ 詳しくは「資源とごみの分別ガイドブック」を確認してください。

「資源とごみの分別ガイドブック」は市HP、環境課窓口およびNピアで配布しています。